

7月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/07/01 (火)	東京は日銀短観が良好な内容となったうえ、欧米金融機関に対する損失計上懸念から円買い優勢。欧米は地政学リスクの高まりからドルは統落でスタート。しかし良好な米経済指標などもあり反発へ。	・6月の日銀短観大企業DIは5 ・豪中銀金利据え置き、声明は「金融状況は大幅に引き締まっている」 ・欧州系金融機関に損失計上懸念 ・6月の米ISM製造業景況指数50.2、5月の米建設支出 0.4%	・サウジ国王「原油が増産されても価格上昇は緩和されない」 ・ABCテレビ「イスラエルによる年内のイラン攻撃の可能性高まる」 ・イラン石油省高官「攻撃は中東原油市場に影響」	106.05 106.39 105.23 106.12	167.16 167.64 166.16 167.57	寄付 安値 高値 終値
08/07/02 (水)	東京は日経平均が大幅安となったうえ、ユーロ債償還の思惑から円買い優勢。ただ終盤はキャリ観測も。欧米は予想を下回るADP全米報告に対する失望からドル売り優勢。また原油相場の上昇もドル売り要因。	・英住宅関連会社の増資計画失敗、との一部報道あり ・5月の米製造業受注0.6%、6月のADP全米雇用報告 7.9万人 ・シティ&ミルの業績下方修正予想、GMに経営不安の噂など	・アルムニア欧州委員「ユーロは過大評価されている」 ・米財務長官「金融機関を整理する規制当局のプロセス強化必要」 ・米大統領「強いドルを支持する」	106.18 106.78 105.78 105.90	167.66 168.65 167.35 168.20	寄付 安値 高値 終値
08/07/03 (木)	東京は夜半に発表される米雇用統計をにらみ手控えムード。目立った動意はほとんどみられず。欧米は米雇用統計の悪数字からドル売り優勢。しかし米株が堅調で売り一巡後はむしろ買い戻し優勢。	・自民党SWFプロジェクトチーム「公的年基金原資に10兆円規模で運用」 ・ECBが政策金利を0.25%引上げ ・6月の米失業率5.5%、同非農業者雇用数 6.2万人、同ISM非製造業指数48.2	・独勢府筋「G8でインフレが議題になる見通し」 ・米財務長官「ドル安の商品価格上昇への影響は小さい」 ・ECB総裁「先行きの金融政策に関しハイアスはない」	105.88 106.93 105.77 106.74	168.13 169.14 167.37 167.62	寄付 安値 高値 終値
08/07/04 (金)	東京は週末ということに加えNY休場で積極的な売りが観測されず。主要通貨はレンジ相場。欧米はユーロの追加利上げに否定的な見方が台頭しユーロの足かせに。薄商いのなかユーロが小安い。	・5月の景気先行指数92.6 ・日経平均の統落が12日間で止まる ・NYが独立記念日で休場	・独連銀総裁「ECBの利上げは中期的な物価安定に寄与」 ・オーストリア中銀総裁「インフレ、当初の予想以上に上昇する見通し」 ・パロゾ欧州委員長「ドル相場の水準は世界的な懸念要因」	106.70 106.88 106.59 106.73	167.35 168.07 167.13 167.53	寄付 安値 高値 終値
08/07/07 (月)	東京は韓国中銀の介入示唆やユーロ債の償還観測などから円買い優勢。またユーロ、スイスが済まない。欧米はG8サミットでドル支援が示唆されるとの思惑などからドル買い先行。しかしリーマンショックで流れ反転。	・スイス当局、UBSとCSに計700億フランの引当金を強制追加(6日) ・韓国中銀が外為市場を安定させるための協調介入し実施を示唆 ・リーマンショックで「ファニーメイとフレディーマック」に資本追加必要」とのレポートを出す	・NZ財務省「NZ経済はすでにリセッション入りの可能性」 ・アルムニア欧州委員「インフレを非常に懸念」 ・SF連銀総裁「追加景気対策はおそらく不要」	106.76 107.75 106.66 107.18	167.54 168.64 167.15 168.57	寄付 安値 高値 終値
08/07/08 (火)	東京は日経平均が300円を越す下げ幅記録したことを嫌気し円買い優勢。さながら独歩高の様相に。欧米はサルコジ発言やバーナンキ発言などを好感したドル買い先行。その後も米株にらみつつドルは統落。	・G8首脳宣言「金融市場の状況は幾分改善、深刻な緊張が依然存在」 ・5月の米中古住宅販売 4.7%、同卸売在庫0.8%	・仏大統領「米大統領はドル安が問題と認めている」 ・FRB議長「プライマリーディーラーへの貸し出しを延長すること可能」 ・リッチモンド連銀総裁「利上げ機運が高まっている」	107.07 107.55 106.25 107.51	168.37 168.47 167.22 168.47	寄付 安値 高値 終値
08/07/09 (水)	東京は機械受注の上振れに加え地政学リスクの高まりがドル売り要因に。ただ107円は割り込めず。欧米は東京の流れを継ぎドル売り優勢。107円を割り込むと損切り巻き込み統落。対円では安値引け。	・5月の機械受注10.4% ・イラン国営放送「中長距離地对地ミサイル9発試験した」 ・第1四半期ユーロGDP改定値0.7% ・フィッチがギリシャを格下げの方向で見直しと発表	・独首相「為替レートがファンダメンタルズ映すよう求めることを望む」 ・中国証券報「海外の資産運用会社を通じて海外株式投資を開始」 ・ECB総裁「米国の強いドルは国益と繰り返していること重要」	107.48 107.66 106.67 106.76	168.38 168.90 168.01 168.06	寄付 安値 高値 終値
08/07/10 (木)	東京はWSJ紙の報道を受けてドル売りでスタート。しかし東京の株高などもありその後はじり高推移。欧米はイランによるミサイル再発射観測に加え米財務長官発言を受けてドルが済まない。安値引け。	・5月の経常収支2兆6億円、6月の国内企業物価指数0.8% ・イランが再度ミサイル試験 ・BOEが政策金利を据え置き	・WSJ紙「米政府はファニーメイ等に不測の事態が生じた際の対応協議」 ・前SL連銀総裁「ファニーメイとフレディーマックはすでに破綻状態」 ・米財務長官「金融機関の破綻は容認されるべき」	106.87 107.45 106.70 107.06	168.11 169.06 167.83 169.00	寄付 安値 高値 終値
08/07/11 (金)	東京はNYタイムズの報道を好感したドル買い戻しでスタート。ただ上値も重く107円台では上げ波りの感も。欧米は地政学リスクの再燃に加え、GSEに対する不安感が広がるとドル売り要因に。一時105円台も。	・5月の鉱工業生産確報2.8% ・5月の米貿易収支 597.9億ドル、対日 50.46億ドル、対中 210.49億ドル ・6月の米輸入物価2.6%、7月のシカゴ大消費者信頼感指数56.6	・NYタイムズ「米政府はファニーメイなどの問題悪化なら政府管理下に置く」 ・現地紙「イスラエル空爆機がイラク上空で演習」(のちに否定) ・ホワイトハウス「米議会にGSE監督関連法案の承認求める」	107.00 107.30 105.66 106.30	168.93 169.63 168.15 169.42	寄付 安値 高値 終値
08/07/14 (月)	東京は米財務長官によるGSE支援策やインバの買収合意のニュースからドル買い優勢。欧米はスペイン銀による英銀買収観測からポンドが強含み。一方、GSE支援策の効果は限定的なものに。	・インバによるアソハイザー・ブッシュの買収決定(約500億ドル規模) ・7月月例経済報告で基調判断据え置き ・スペインサンタンデル銀が英アライアンス&レスター買収へ	・米財務長官「米財務省、GSEへの信用枠を一時的に拡大へ」 ・FRB議長「消費者を保護する目的の新住宅ローン規制を発表」 ・リーマン「ワシントン・ニュース」が260億ドル評価損計上の可能性	106.58 106.81 106.05 106.15	169.49 169.58 168.79 168.86	寄付 安値 高値 終値
08/07/15 (火)	東京は米地方銀行の経営不安や日経平均が200円を越す下げを記録したことで円買い優勢。欧米はSEC委員長の発言を好感したドル買いも見られるが統落。結局104円台の安値圏で大引けた。	・日銀が全会一致で金利据え置き ・7月の独ZEW景況感指数 63.9 ・6月の米小売売上高0.1%、同PPIは1.8%、7月NY連銀指数 4.9、5月の企業在庫0.3%	・ムンチエス「GSE2社を格下げへ」 ・FRB議長「比較的弱い第2四半期GDP成長を予想」 ・SEC委員長「GSE2社を含めた金融株の空売りに新規規制設ける」	106.20 106.22 104.16 104.71	168.75 168.80 166.40 166.61	寄付 安値 高値 終値

します。アドレス info@fx-newsletter.com まで